

苫小牧市立学校再編ビジョン（案）　【概要版】

令和８年 11 月　苫小牧市教育委員会

第１章　背景・位置づけ・計画期間

【背景】

少子化の進行により、令和６年の本市の出生数は７７９人（過去最低）

児童生徒数も昭和 60 年の約 24,000 人をピークに減少し、約 12,000 人と半減

→　クラス替えが行えない学年・学校が生じ、多様な考えに触れる機会の減少、教育効果や教育活動にも様々な影響

【位置づけ】

「苫小牧市立小中学校規模適正化基本方針」に基づき、

適正規模、適正配置の中・長期的な全体像を示す

【計画期間】

令和９年度（2027 年度）から令和１８年度（2036 年度）までの１０年間

（社会情勢や児童生徒数の推移などの変化も想定されることから、適宜見直し）

第２章　アンケート

■未就学児の保護者

望ましい学級数について、93.7%が２～４学級と回答

■在校生の保護者

現状２学級以上の場合、「満足」が過半数を超えるが、１学級の場合は「不満」が過半数を超える

統廃合については、小規模校の解消は望むが、在校生に影響がないようにしてほしいが 61.6%であった

■小学校５年生、中学校２年生の児童生徒

望ましい学級数について、86.1%（小）94.9%（中）が２学級以上と回答

■市内に勤務する教員

望ましい学級数について、98.7%が２学級以上と回答

第３章　再編の基本方針

１　小規模校の再編、クラス替えが可能かつ、より充実した集団活動が可能な環境の整備

２　全市的な配置バランスを見極めながら隣接校と統合（小中連携や地域コミュニティの要素を考慮）

３　スクールバスの活用などを検討し、通学の安全を確保

第４章　全体像

現在３７校を１０年間で１１校減の 26 校に再編

（小学校 22→１４　中学校 14→10　義務教育学校 1→2）

- 閉校する小学校（美園、糸井、若草、苫西、日新、豊川、清水）
- 閉校する中学校（凌雲、開成、啓明）
- 義務教育学校化（勇払小・中）

【統合スケジュール】

統廃合校	R14	R15	R16	R17	R18
凌雲中→緑陵中					
美園小→緑小（明野小）					
開成中→和光中					
糸井小・苫西小→大成小					
若草小・苫西小→苫東小					
日新小・豊川小→北星小（北光小）					
啓明中→明倫中（緑陵中）					
清水小→緑小					

本ビジョンに基づき、具体的な地域との協議を進めます